施設紹介

柳原銀行は,1899年(明治32),柳原町(崇仁地区)の町長であった明石民蔵ら地元の有志によって同和地区内に設立された唯一の銀行でした。当時,柳原銀行は,差別のために資金を得られなかった町内の皮革業者らに融資をして,産業の育成・振興に大きく貢献したほか,その利子を地元の小学校の運営資金や道路建設資金に当てるなど,自力で差別を撤廃していく模範とされました。

大正期には,山城銀行と改称し,営業を拡大していきましたが,金融恐慌などの影響を受けて,1927年(昭和2)に倒産しました。

その後,建物は商店や借家として使用されましたが,1986年(昭和61)に道路の拡幅工事に伴う建物の取り壊し案が出たことを契機として,地域では,建物をまちづくりのシンボルとする保存運動が盛り上がり,保存に向けた様々な取組が行われました。また,1989年(平成元)に実施した京都市の建物調査において,設計密度の高い明治後期の洋風木造建築物であることが判明し,1994年(平成6),京都市登録有形文化財に登録されました。

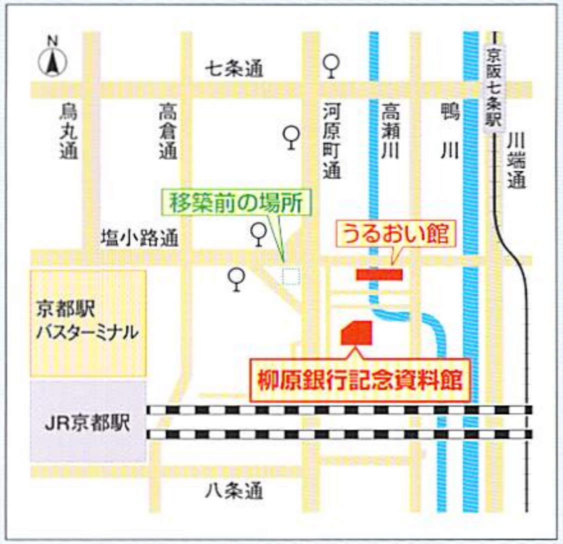
このような中,建築保存に対する地域の熱意と本市の取組とがあいまって,建物を移築,復元することとなり,1997年(平成9)から柳原銀行記念資料館として開館しました。

当館は,地元の方々から寄贈された貴重な資料をはじめ,地域の歴史,文化,生活等にふれる展示を通じて,同和問題への正しい理解と人権意識の普及・高揚を図る啓発施設として多くの皆さんに親しまれています。

- ■ 構造形式　木造2階一部平屋建て屋根寄棟及び切妻造り桟瓦葺
- ■ 建築面積　88.58㎡
- ■ 延床面積　164.50㎡
  - (1階)　88.58㎡
  - (2階)　75.92㎡
- ■ 軒高　7.66m
- ■ 建物調査期間　平成6年 7 月 ～ 平成7年 3 月
- ■ 解体工事期間　平成7年 3 月 ～ 平成7年 8 月
- ■ 復元工事期間　平成8年10月 ～ 平成9年10月

- ◆ 所在地　〒600-8206　京都市下京区下之町6-3
- ◆ 問合せ先　柳原銀行記念資料館☎ 075-371-0295
- ◆ 研修申込先　京都市下京いきいき市民活動センター☎ 075-371-8220
- ◆ ホームページ　http://web.kyoto-inet.or.jp/org/yanagin/
- ◆ 開館時間　午前10時～午後4時30分
- ◆ 閉館日　月曜日，火曜日，祝日
  年末年始(12月29日～1月3日)
  その他,展示替えにより臨時休館する場合があります。
- ◆ 入館料　無料
- ◆ 交通機関　JR「京都」駅及び地下鉄「京都」駅から徒歩約8分
  京阪「七条」駅から徒歩約10分
  市バス 南5,17,205
  「塩小路高倉」下車

※駐車場はありませんので,公共交通機関をご利用ください。



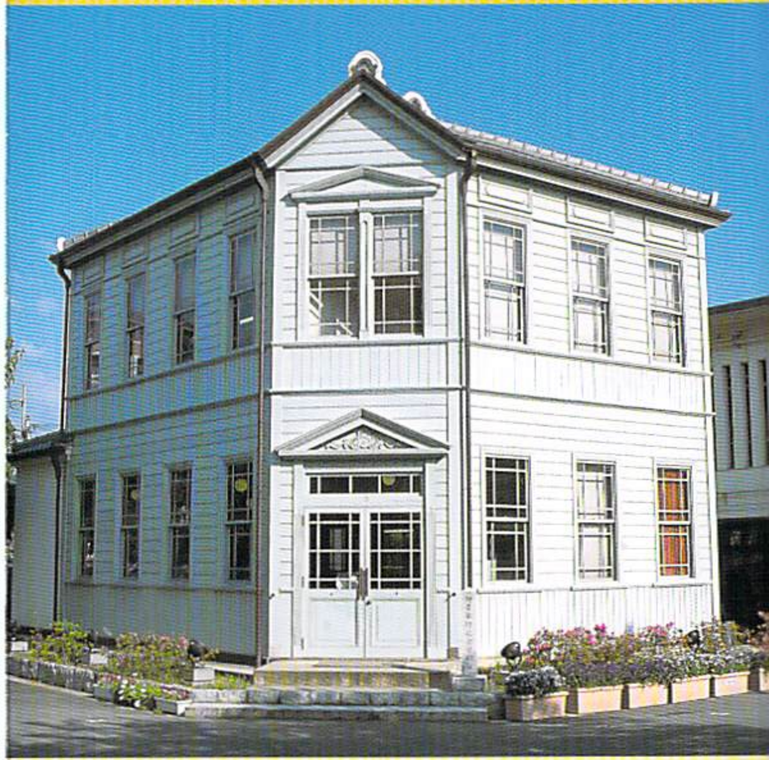
— 同じです あなたとわたしの 大切さ —

発行　京都市人権文化推進課
京都市印刷物　第154010号

時を超え 美しく ひと輝く 歴史都市・京都

柳原銀行記念資料館

京都市人権資料展示施設



京　都　市

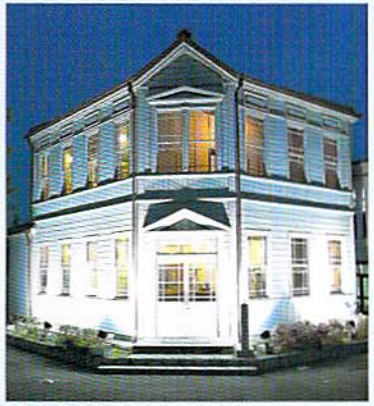
1階

設立者の熱意が伝わる明治期の銀行建築様式が多く残っており，外観とともに創建時（明治40年）の姿を可能な限り忠実に復元しています。

▲1階展示風景　銀行営業室として使われていた創建当時の姿を復元。カウンター，照明は現存していなかったため，同時期の銀行を参考にした。

▲創建時の姿をとどめる格天井。透かし彫りを施した六角形の中心飾りとシャンデリア

▼金庫室（現在はビデオコーナーとして使用）は後世の増築。扉は同時期の銀行を参考に復元



夜間ライトアップ風景 ▶

▲建物の角を切り，その角に玄関部を置く構成は，明治期の金融機関にしばしばみられる。その際角部の強調のため，ペディメント（三角破風飾り）を置くか，屋根に塔を付すのが一般的手法であった。

▲木製サッシュの上げ下げ窓と2階窓枠上部に配した長方形のフィールデット・パネル（浮き彫りのある装飾板）

▲1階部分の階段は改変されていたため，2階部分を基に復元

建物の特徴

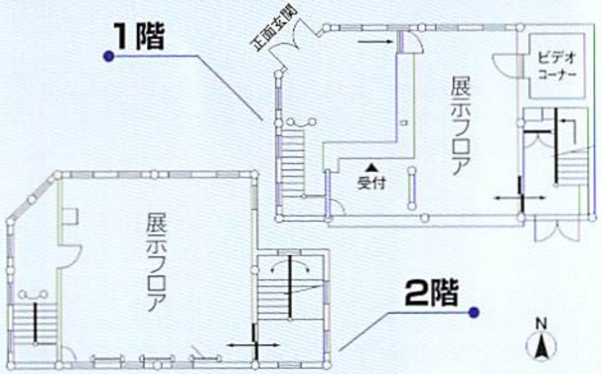
当建築物は，棟札から明治４０年の竣工と判断されます。京都に現存する銀行建築物の中では，明治３９年の旧日本銀行京都支店（現　京都文化博物館）が最も古く，これに次ぐものです。

外観は，桟瓦葺き寄棟造り，隅切部は切妻造りで，フィールデット・パネルやペディメントを配した，明治期の銀行建築様式の特徴が現われています。

室内の1階は営業室で，格天井や壁面，階段等の仕様が銀行としてふさわしい格調を演出しています。2階は執務室と考えられ，簡略化した様式になっています。

2階

▲2階展示風景

◀当時のままの階段と手すり

建物見取り図